

平成26年度 地域行政懇談会

ご意見に対する 市の取り組みについて

問合せ 行政課 (☎983-2615)



市では、少子高齢化など今後想定される中長期的課題に対応するため、市の現状や課題に関し市民と情報を共有し、解決策について知恵を出し合う『地域行政懇談会』を、平成26年7月から8月にかけて連合会自治会6団体の各地域を単位として計7回開催しました。参加者から出された意見や提案に対する取り組み状況を紹介します。



▲子育てじいじ養成講座

テーマ 高齢者の生きがいづくりについて

- 「寿大学」は希望者全員が受講できるようになりますか。
⇒会場の規模などによる制限もありますが、参加希望者をより多く受け入れられるよう、検討します。
- 敬老祝金の廃止・見直しを検討したらどうか。
⇒対象者の増加により、市の財政や自治会・町内会の配付時にも負担の増大が見込まれます。「高齢者の見守りのために必要」との声もあるので、事業の見直しや代替施策の検討など方向性を探ります。

テーマ 高齢者の活躍の場について

- 松崎町の「であい村 蔵ら」という施設では、高齢者が生き生き活動している。三島市でもそういった場を作ってほしい。
⇒ビジネスとして事業継続していけるよう、商工会議所とタイアップし、M-ステでの経営相談やマッチングを行っていきます。大通り、芝町通りでは空き店舗対策事業費補助金の制度が活用できます。
- 私どもの特別養護老人ホームでは一部施設が日曜日に空いている。地域のために場所を提供できるが、いかがか。
⇒お申し出ありがとうございます。一度施設を拝見し、具体的なお話を伺いながら、利用希望団体を調整します。



▲シルバー人材センターによる剪定講習会



▲水防訓練での土のう作り

テーマ 防災減災について

- 災害発生時に避難行動要支援者名簿が利用可能な判断基準は。
⇒同じ町内でも局所的に被災する場合がありますので、状況に応じた判断をお願いします。今後、定期的に自治会・町内会や民生委員への説明会などを開催し、意見を伺いながら、判断基準の認識を共有します。
- 市が作成した避難行動要支援者名簿には不備があると思う。
⇒名簿情報の精度は今後も改善に努めます。来年度以降の名簿は、組・班ごとなどで作成し、各様式も個別支援計画の内容をわかりやすくなるよう見直しました。今後も、自治会・町内会や民生委員との話し合いを重ねながら、避難支援体制を確立していきます。

テーマ 子育て支援について

- 放課後児童クラブで、元教員などの協力を得た空き教室での科学実験など、高齢者の生きがいがつくりと子育てをうまく組み合わせられないか。

⇒平成27年4月から放課後児童クラブの対象が小学6年生までに拡大されます。これを受け、地域住民や大学生、教員・企業OB、文化・芸術団体などさまざまな人材に参画してもらい、学習支援、体験活動、交流活動など多様なプログラムを提供する「放課後子ども教室」の取り組みと、放課後児童クラブとを連携して実施する「放課後子どもプラン」の推進について、教育委員会との協議を開始する予定です。

- 子供が生まれたら男性も1週間は一緒にいてほしい。そのためには事業主の理解が必要。

⇒三島市は県内で唯一、男性の育児休業取得を奨励する「三島市男性の育児休業取得補助事業」を実施しています。これは、市内在住男性労働者が1歳未満の子どもに対し、5日以上連続して育児休業を取得した際に、労働者と事業主に補助金を支給する制度です。今後も事業主の理解と補助金の利用を促進します。

- 若い世代から「長泉町の子育て支援は良い」という話をよく聞く。三島市の支援策も素晴らしいのでよりPRを!

⇒子育て支援策をPRするため、未就学児を持つ全世帯に、平成27年4月から施行予定の「子ども・子育て支援新制度」の案内と、「きめ細かなサービスが自慢 子育て三島スタイル」というリーフレットを郵送しました。



▲子育て講座「育メン教室」



▲家庭生ごみ処理用の段ボールコンポスト「だっくす食ん太くんNeo」

テーマ ごみ行政について

- 搬入ごみを有料化することで他市町からの流入を防げるのではないか。

⇒廃棄物処理対策審議会で、生活系自己搬入ごみの有料化、事業系一般廃棄物処理手数料の改定を検討しています。

- スーパーでレジ袋を有料化したらマイバッグが増えたので、ごみ出しを有料化しても良いのではないか。

⇒指定ごみ袋に手数料を上乗せする有料化は、一般廃棄物処理基本計画の排出抑制に関する重要施策として、廃棄物処理対策審議会で継続検討をしていますが、まずは燃やすごみの減量に繋がる施策を図りたいと考えています。今後ごみ減量の成功事例などについて調査・研究します。

テーマ 公共施設の将来の在り方について

- 公共施設改築時の必要条件を検討する委員会などを作ったらどうか。改築の検討時は市民の意見を聞くべきでは。

⇒公共施設の再配置や保全計画を策定する上で、市民の意見を反映することは必要なため、情報発信をしながら進めたいと考えています。平成27年度には公共施設に関する無作為抽出のアンケートを実施する予定です。また、平成28年度以降に作成する「公共施設保全計画」の策定の際には、検討委員会などの設置を検討していきます。



▲昭和35年に建設された市役所本館



▲花をいかした街並み

テーマ ガーデンシティみしまの推進について

- ガーデンシティみしまの推進は、名実ともに市民との協働で進めたらどうか。

⇒大通りは花飾りの質を保てるよう、基本的な維持管理は今後も市が継続していきます。手軽な維持管理については、すでに沿線の商店会の協力を得ており、花飾りなどの製作は、すべてボランティアにお願いしています。今後も多くの方々に協力を呼びかけ、市民の参加しやすい体制づくりを進めていきます。

地域行政懇談会のご意見の詳細は市ホームページでも公開しています。